

# 環境新聞

発行所 環境新聞社  
東京本所 03-3551-5371  
東京支所 03-3551-1939  
大阪支所 06-6252-5855  
神戸支所 078-232-1111  
福岡支所 092-282-1111  
札幌支所 011-241-1111  
仙台支所 022-232-1111  
新潟支所 025-232-1111  
長野支所 026-232-1111  
岐阜支所 057-232-1111  
愛知支所 052-232-1111  
京都支所 075-232-1111  
大阪支所 06-6252-5855  
福岡支所 092-282-1111  
札幌支所 011-241-1111  
仙台支所 022-232-1111  
新潟支所 025-232-1111  
長野支所 026-232-1111  
岐阜支所 057-232-1111  
愛知支所 052-232-1111  
京都支所 075-232-1111

## 経産省再エネは19年度比「10倍増」

2030年度の新たな電源構成の比率について、経産省が、原子力発電の電力比率を現行目標の20%を維持し、再生可能エネルギーは現行目標の24%から36%に引き上げる方向で調整していることが18日までに分かった。脱炭素電源を現行目標44%から6割程度に引き上げる。一方、発電時にCO2を排出する火力発電の比率は現行目標の56%から41%、うち排出量の多い石炭火力は26%から19%に引き下げる方向だ。

政府は昨年秋に50年まで、再生可能エネルギーの比率を現行目標の20%を維持し、再生可能エネルギーは現行目標の24%から36%に引き上げる方向で調整していることが18日までに分かった。脱炭素電源を現行目標44%から6割程度に引き上げる。一方、発電時にCO2を排出する火力発電の比率は現行目標の56%から41%、うち排出量の多い石炭火力は26%から19%に引き下げる方向だ。

## 原発比率、30年度「2割」維持

現行目標は18年に決めたもので、原子力20%、22%再エネ22%、24%火力56%のうち天然ガス27%、石炭26%、石油3%となっている。19年度の総発電量は見ると、原子力は6%、再エネは18%、火力は76%のうち石炭は32%で、特に原子力の発電割合が低い。原子力発電割合が低い。原子力発電割合が低い。

## 国会審議・参院本会議(7日) 地球温暖化対策推進法改正案

7日の参院本会議では、小泉進次郎環境相が地球温暖化対策推進法改正案の趣旨説明を行った。対し、立憲民主党の徳水議員が公明党の河野議員らと政府の対応に方針を貫いた。その中で、小泉環境相は、温暖化対策を2030年度に46%削減する目標として、50年カーボンニュートラルと整合的かつ野心的な目標を掲げ、世界の脱炭素化を牽引する観点から、再生可能エネルギー、由来水素の輸出可能性を追求していく考えを示した。

## 小泉環境相 「46%目標は世界の脱炭素化を牽引する観点から総理が判断」 「離島の脱炭素ドミノで再エネ由来水素の輸出可能性も追求」

小泉環境相は、今回の国会審議において、関係者との協力を得て、具体的な対策、実施計画を提示し、50年カーボンニュートラルの達成を促す。また、再生可能エネルギーの比率を現行目標の20%を維持し、再生可能エネルギーは現行目標の24%から36%に引き上げる方向で調整していることが18日までに分かった。脱炭素電源を現行目標44%から6割程度に引き上げる。一方、発電時にCO2を排出する火力発電の比率は現行目標の56%から41%、うち排出量の多い石炭火力は26%から19%に引き下げる方向だ。

## 新型コロナウイルス感染対策で超党派議連 会長に片山さつき氏、空間除菌を活用

新型コロナウイルスをはじめとする感染症の感染拡大を抑制し、経済的損失を軽減し、生活の安定を確保するための超党派議連が、12日に発足した。会長に片山さつき氏が就任し、空間除菌を積極的に活用し、感染対策を強化する方針だ。

## 素へ総合的な交付金の創設を 脱炭素 全国市長会が提言、環境省に実現要請

全国市長会の環境対策推進委員会が、環境省に総合的な交付金の創設を要請する。脱炭素社会の実現に向け、地方自治体の取り組みを支援するための交付金創設を求め、環境省に実現を要請する。

## 今週の紙面

- ◇2030年脱炭素、電力コストは倍増
◇DXが加速するGXの処理業者主導
◇資源循環プラットフォーム構築を
◇下水PCRでコロナ感染者を早期発見
◇新連載「生物多様性」①-1
◇野立て太陽光を中心とする再生可能エネルギーが限られる中、脱炭素化が求められる中、地方自治体の取り組みを支援するための交付金創設を求め、環境省に実現を要請する。

### 水質簡易分析器 IONTEST

測定方法: 試薬投入 → 検水投入 → 振る → 比色測定

測定項目	測定範囲(7段階目録)
WIT-Cu	0.2 ~ 10mg/L
WIT-Ni	0.2 ~ 10mg/L
WIT-NH4	0.3 ~ 20mg/L
WIT-COD-M	0 ~ 100mg/L
WIT-COD-H	0 ~ 250mg/L
WIT-Cr <sup>6+</sup>	0.05 ~ 2.0mg/L
WIT-Cr <sup>3+</sup>	0.5 ~ 20mg/L
WIT-HOCI	10 ~ 150mg/L
WIT-CN	0.02 ~ 2.0mg/L
WIT-H2O2-H	10 ~ 150mg/L
WIT-NO2	0.05 ~ 1.0mg/L
WIT-NO3	0.5 ~ 20mg/L
WIT-PO4	0.2 ~ 5.0mg/L
WIT-PO4-H	2 ~ 50mg/L
WIT-TN-H	0 ~ 100mg/L
WIT-Fe	0.2 ~ 5.0mg/L
WIT-Zn	0 ~ 5.0mg/L

※何回でも繰り返し使用可能な測定セル 測定試薬 50回分付